

[課程－2]

## 審査の結果の要旨

氏名 佐々木 那津

本研究は未就学児を育てながら働く女性を対象として、Web によるアクセプタンス&コミットメントセラピーを用いた心理介入の心理的ウェルビーイングに対する効果をランダム化比較試験を用いて検証し、下記の結果を得ている。

1. 841名の対象者に対してランダム化比較試験を実施し、心理的ウェルビーイングの下位項目のうち「積極的な他者関係」において有意な介入効果を認めた (pooled effect 0.41 [95% CI 0.08 - 0.74],  $t=2.44$ ,  $p=0.015$ )。効果量は小さかった (Cohen's  $d=0.18$  [95% CI 0.019 - 0.35])。そのほかの心理的ウェルビーイングの下位項目については、有意な効果は認められなかった。
2. 副次的アウトカムでは、COVID-19に対する心配と euthymia が有意に改善された。

以上、本論文は、集合研修形式による教育の提供が難しい働く母親に対して Web による心理介入を行い、心理的ウェルビーイング向上への効果を明らかにしたものであり、本邦の産業医学領域における職場のメンタルヘルス対策および女性の復職支援を検討する上で重要な貢献をなすと考えられる。

よって本論文は博士（医学）の学位請求論文として合格と認められる。